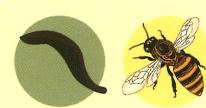


コースの 魅力

日本遺産認定 中山道醒井宿から七湧水、滋賀県指定史跡
松尾寺跡を結ぶコースです。尾根筋をたどり、西に琵琶湖、
東に伊吹山と靈仙山を望むことができます。

散策の注意



ヒル、ハチなどが出ることがあります。冬期以外は特に留意してください。

注意を守つて、楽しいトレッギングを！

高低差のある健脚の方向
きのトレッキングコースです。
途中急な坂など滑りやすいと
ころもあります。登山又はト
レッキング用の靴、杖等の軽
登山の装備、複数人での散
策・見学をおすすめします。



コースの途中
にトイレはあり
ません。(いば
とり水、靈仙三
藏堂にはトイレ
があります)

松尾寺登山口からの林道使用について

松尾寺登山口から松尾寺旧本堂近くまで、林道が通じていますが、危険防止等のため、一般登山者による自動車の通行は原則として禁止しています。



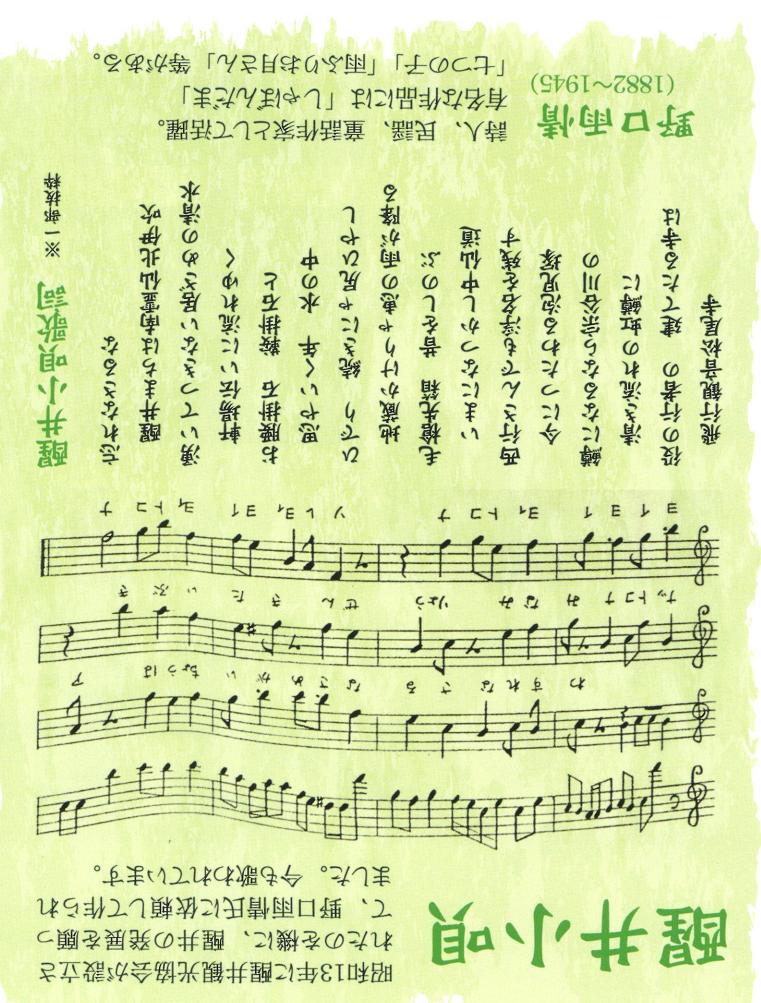
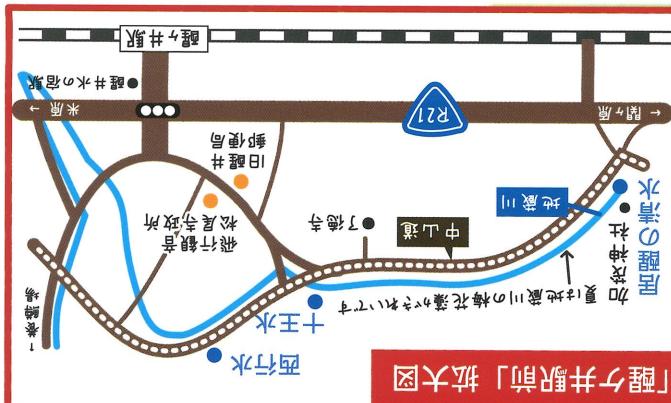
A vertical illustration on the left side of the page. It features a blue stone wall at the top, a brown pickaxe in the middle, and a small brown house-like structure at the bottom. To the right of the illustration, there is Japanese text about cultural properties.

コースは私有地、信仰の地を通っています。指定文化財以外にも地元の人々が大切にしているものがあります。モラルをもって散策・見学していくようお願いいたします。

安全な散策のため、わからないことは事前に下記までお問合せください。

発行元 米原市教育委員会 TEL.0749-55-4552 FAX.0749-55-4040

埋藏文化財公開活用事業



滋賀県指定文化財 松尾寺史跡

近江・湖北は数多くの靈峰に囲まれ、古くから山岳信仰の聖地とされてきました。松尾寺もそのひとつです。

現在はその拠点を松尾寺山山麓に移していますが、かつての境内地は、靈仙山が一望できる松尾寺山の山腹にあり、九重石塔（重要文化財）、本堂跡や数多くの坊跡が残されています。

寺伝によると、天武天皇9年（680）に、役小角（役行者）が松尾寺山に入り修行したのが始まりとされ、平安時代には、伊吹山修験 法相宗の僧三修の弟子である松尾童子が興隆に力を注いだと伝わります。浅井亮政（長政の祖父）などの書状が残されており、戦国時代にはこの地域の有力武将とつながりが深かったことがわかります。江戸時代には彦根藩の庇護により本堂が再建されました。

ご本尊は飛行観音と称され、秘仏です。空中から雲に乗って飛来したとされ、現在では、空を旅する人や航空関係者を始め様々な人が安全祈願に訪れます。



米原市指定文化財 参詣道の丁石

松尾寺へ西坂集落と下丹生坂口集落からの登る二つの参詣道には、路傍1丁ごとに丁石という石柱が立てられています。仏様を表す梵字の下に丁数が掘られています。中世室町末期から近世にかけての旧型のものは上部が三角になっており主に自然石で出来ています。近代のものは方柱切石で出来ています。西坂参詣道には旧型丁石が13基残っています。また坂口参詣道には旧型丁石6基と近代の丁石が一丁石から十二丁石まで全部のこってあります。かつて、多くの人々がこれらの丁石に導かれて参詣登山をしたことが偲ばれます。



中世～近世の丁石。上に仏様を示す梵字が刻まれており、丁仏ともいう。

松尾寺山砦跡

地蔵峠のすぐ西側の尾根上に位置しています。3本の堀切が設けられて、尾根筋を切断する構造になっており、南西側の堀切から北東側の堀切まで約200mが砦跡です。中央の堀切はもっとも大規模で、上部の幅は約8mあります。この堀切の東側が主郭です。



① 飛行観音

松尾寺の御本尊の聖観音と十一面観音の2体の仏様で、役行者が修行をしているとき、雲に乗って空中から飛んで降りておいでになりました。



松尾寺の七不思議？？

松尾寺には古くから七つの不思議が伝わり、参拝者にも親しまれています。

② 影向石

空中より飛来された飛行観音がこの石の上にお降りになったと伝えられています。仏様の足跡が残っていたといわれます。



③ 役行者の斧割水

役行者が松尾寺山でお堂を建てる場所を探しているとき、水に困り、弟子に命じて斧で自然石を打ち割らせると、清水が滾々と湧き出していました。



④ 鐘鋸り場

松尾寺の釣鐘を鋸造したところで、大きな窪地になっています。真ん中の龜石は不淨を嫌い、たとえばここに小便等をするとおなかが痛くなってしまうといわれます。



⑤ 一本橋

川のない所にかかる石橋。松尾寺に入るにはこの橋を必ず通ります。橋は聖と俗を分かち、これを渡ることで禊ぎをするのです。



⑥ 挟み岩

両側から大きな岩がせまっている所で、松尾寺で、悪いことをすると、挟まれて動けなくなると伝わっています。現在は片方が倒れ、1本だけが残っています。



⑦ 夫婦杉

弘法大師が松尾寺に参詣され、お弁当を食べた時、土に突き刺した箸が二本の大きな杉の木になりました。上下逆さまに刺したので、木の枝がみな下に向いているといわれています。現在は片方が倒れ、1本だけが残っています。

